

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 7 月 21 日 (2016.7.21)

【公開番号】特開 2014-569 (P2014-569A)

【公開日】平成 26 年 1 月 9 日 (2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2014-001

【出願番号】特願 2013-127080 (P2013-127080)

【国際特許分類】

B 0 5 B 1/30 (2006.01)

G 1 0 K 11/16 (2006.01)

B 0 5 B 1/04 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 1/30

G 1 0 K 11/16 G

B 0 5 B 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 6 月 6 日 (2016.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

空間領域を閉じ込めることを目的としているまたは冷却タワーのための少なくとも 1 つのウォータカーテンを生成する装置のためのモジュールであって、

少なくとも 1 つの給水部と、

前記給水部の下流に取り付けられている少なくとも 1 つの収束区域と、

前記収束区域の下流に取り付けられており、前記モジュールと等しい長さでありかつ前記ウォータカーテンの厚さを画定する距離により分離されている 2 つの平行壁で作製されている少なくとも 1 つのノズルと

を含み、

前記ノズルの前記壁の一方は可動であり、他方の壁は固定されており、前記可動壁を動かす手段を含む、モジュール。

【請求項 2】

前記給水部の下流にかつ前記収束区域の上流に取り付けられている少なくとも 1 つの保持区域であり、少なくとも 1 つの可撓性の拡張可能なグリッドおよび/または拡張可能な多孔質材および/または多数の可撓性薄壁チャネルを含む材料を含む、少なくとも 1 つの保持区域を含む、請求項 1 記載のモジュール。

【請求項 3】

前記収束区域は、下方延在部が前記ノズルの前記 2 つの壁を形成する 2 つの壁を含む、請求項 1 記載のモジュール。

【請求項 4】

前記保持区域は、下方延在部が前記収束区域の前記 2 つの壁を形成する 2 つの壁を含む、請求項 2 記載のモジュール。

【請求項 5】

2 つの収束区域と 2 つのノズルとを含み、各ノズルの前記壁の一方は可動であり、他方の壁は固定されており、前記 2 つのノズルの前記 2 つの固定壁間の距離を変更する手段を含

む、請求項 1 記載のモジュール。

【請求項 6】

前記モジュールの側端に取り付けられている、他のモジュールに取り付ける手段と、前記モジュールの前記側端上に取り付けられておりかつ前記収束区域を隣接したモジュールのための前記保持区域から分離するように遮断壁を適合させるのに適した分離隔壁を受容する手段とを含む、請求項 1 記載のモジュール。

【請求項 7】

空間領域を閉じ込めることを目的としたまたは冷却タワーのための少なくとも 1 つのウォータカーテンを生成する装置であって、請求項 1 記載の少なくとも 1 つのモジュールを含む、装置。

【請求項 8】

前記ウォータカーテンの長さとはほぼ等しい長さを有する長手方向本体により形成されている、少なくとも 1 つのウォータカーテンための受容システムを含み、前記本体は、

前記ウォータカーテンが進入するための、前記本体の上面上の長手方向開口部と、

前記本体の内側に取り付けられている、前記ウォータカーテンからの水を収集し供給するチャンバと、

前記長手方向開口部により進入する前記水を前記収集供給チャンバに向けて送り込むスロットと

を含み、

前記スロットは、おおよそ垂直な第 1 の壁と、前記ウォータカーテンが前述の第 2 の壁に沿って流動することを可能にする第 2 の壁とにより画定することができ、前記第 1 の壁の方へ水を送達する、

請求項 7 記載の装置。